

平成 29 年度 予算のあらまし



「元気で幸せ」を実感できる まちづくりを目指して

刈谷市長

竹中 良則

Yoshinori Takenaka

本市は、昭和 25 年に愛知県内 11 番目の市として市制を施行し、当時の人口は 3 万 868 人でありましたが、それからおよそ 66 年を経て、人口は着実に増加し、昨年 7 月 1 日に 15 万人を超えました。人口減少・少子高齢化にある中で、このような節目を迎えることができたことは、大変喜ばしいことであり、これもひとえに、先人の方々のたゆまぬ努力と市民の皆様の市政へのご理解、ご協力の賜物であると感謝申し上げます。

こうした中、平成 29 年度予算は、引き続き、市民生活の安心安全を確保する施策を推進するとともに、次代を担う子どもたちが安心して学び、成長していただけるように次世代育成や教育に関する施策に重点を置き、市民の皆様が“元気で幸せ”を実感できるまちづくりを目指してまいります。

また、郷土への愛着とまちの魅力や風格を高めるため、歴史的・文化的資源など、ほかにはない本市の貴重な資源を活用するとともに、未来に向けて本市がこれからも発展していくために、スマートインターチェンジの設置や JR 刈谷駅及び周辺の整備、工業用地の開発、西三河知多アクセス道路の具体化など、都市基盤の充実を図るための施策にも順次取り組んでまいります。

この冊子は、本市の各種施策や財政状況をわかりやすくまとめたものですので、活用していただければ幸いです。



目次

予算の規模	1	計画推進分野	11
当初予算額・市税の推移（一般会計）	1	主な財政指標の推移	11
一般会計の状況	2	基金の状況	12
都市環境分野	4	市債の状況	12
教育文化分野	6	市民 1 人当たりの予算額（用途別）	13
福祉安全分野	8	刈谷市の家計簿	13
産業振興分野	10		

予算の規模

一般会計の平成29年度当初予算額は、574億5,000万円で、前年度当初予算額と比較して2.0%の増となります。これは、歴史博物館、特別支援学校の建設、第一学校給食センターの移転、老朽化に伴う保育園の大規模改造などにより増額となるためです。

土地区画整理事業、国民健康保険など特別会計は、238億3,535万3千円で、前年度と比較して16.1%の減、企業会計の水道事業会計、下水道事業会計は、102億6,421万1千円で、前年度と比較して150.3%の増です。これは、平成29年度から下水道事業会計が企業会計に移行したためです。

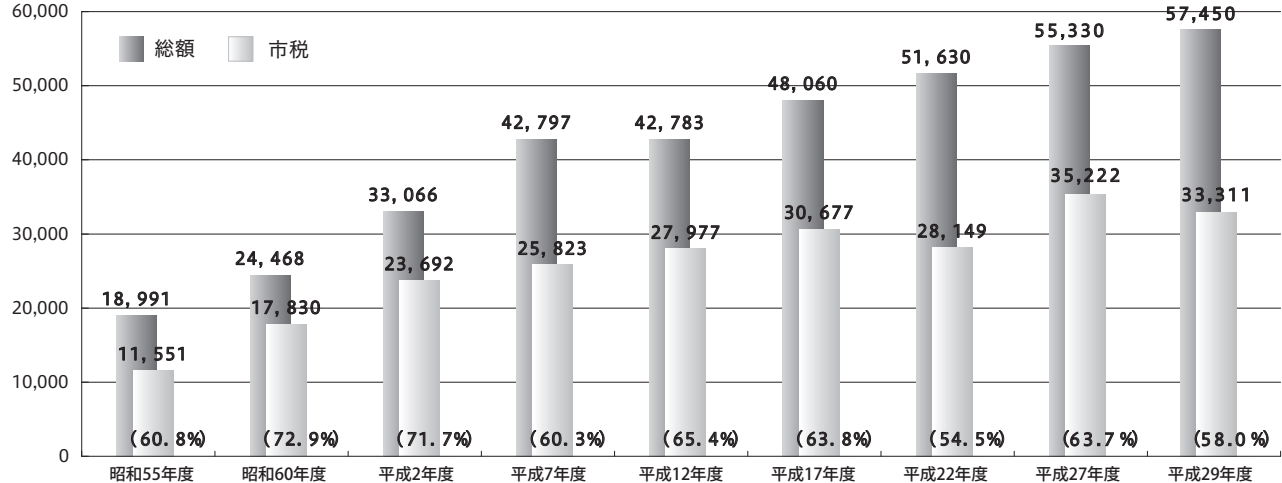
一般会計、特別会計及び企業会計の総合計は、915億4,956万4千円となり、前年度と比較して3.1%の増となります。

(単位：千円、%)

会計名	平成29年度 当初予算額	平成28年度 当初予算額	前年度比	
			差引	伸率
一般会計	57,450,000	56,330,000	1,120,000	2.0
特別会計	23,835,353	28,399,706	△4,564,353	△16.1
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業会計	509,897	387,799	122,098	31.5
刈谷野田北部土地区画整理事業会計	116,415	121,979	△5,564	△4.6
下水道事業会計	0	5,181,262	△5,181,262	皆減
国民健康保険会計	13,713,530	13,751,505	△37,975	△0.3
後期高齢者医療会計	1,654,998	1,615,876	39,122	2.4
介護保険会計	7,840,513	7,341,285	499,228	6.8
企業会計	10,264,211	4,101,101	6,163,110	150.3
水道事業会計	3,821,003	4,101,101	△280,098	△6.8
下水道事業会計	6,443,208	0	6,443,208	皆増
合計	91,549,564	88,830,807	2,718,757	3.1

当初予算額・市税の推移（一般会計）

(百万円)



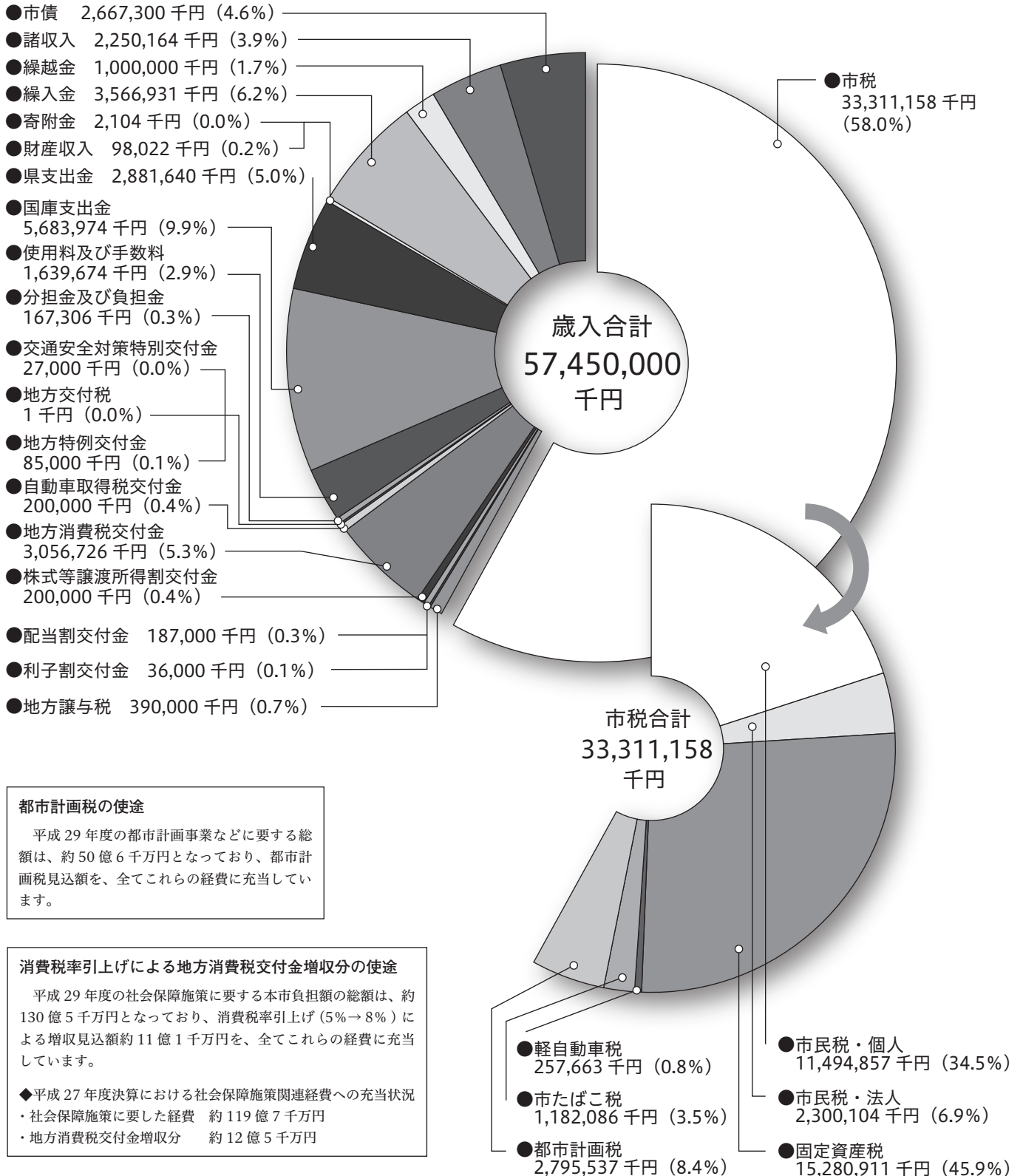
	昭和55年度	昭和60年度	平成2年度	平成7年度	平成12年度	平成17年度	平成22年度	平成27年度	平成29年度
人口 (4月1日現在)	104,615	110,643	118,267	124,625	131,140	139,994	145,245	148,419	150,135
世帯数 (4月1日現在)	34,601	36,949	40,922	44,761	48,569	54,659	60,140	62,409	64,140

※昭和55年度以降の5年毎の額と平成29年度の額を表記しています。

一般会計の状況

歳入

歳入の根幹である市税は、333億1,115万8千円で前年度当初予算額と比較して4.8%の減を見込んでいます。歳入全体に占める割合は、58.0%です。基金等からの繰入金35億6,693万1千円は、公共施設維持保全基金や亀城公園等整備基金、財政調整基金などを活用しています。市債26億6,730万円は、歴史博物館建設事業などの財源とします。



都市計画税の使途

平成29年度の都市計画事業などに要する総額は、約50億6千万円となっており、都市計画税見込額を、全てこれらの経費に充当しています。

消費税率引上げによる地方消費税交付金増収分の使途

平成29年度の社会保障施策に要する本市負担額の総額は、約130億5千万円となっており、消費税率引上げ(5%→8%)による増収見込額約11億1千万円を、全てこれらの経費に充当しています。

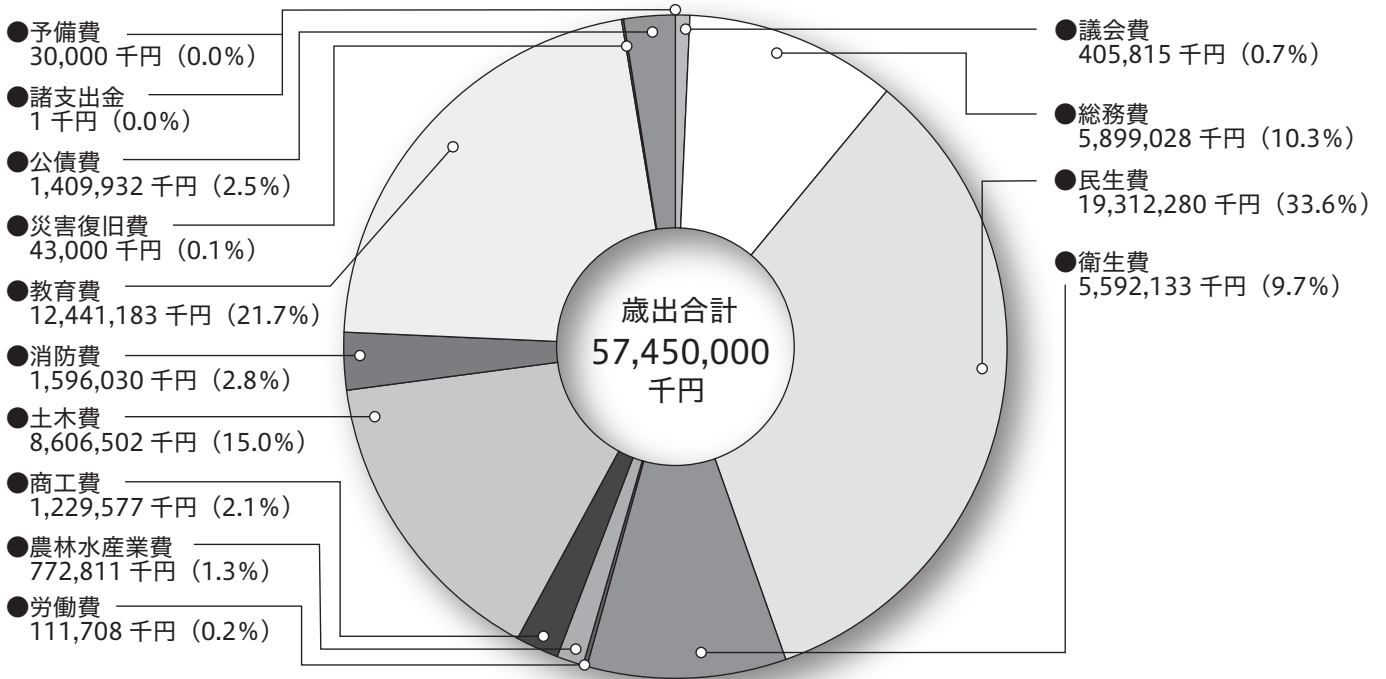
- ◆平成27年度決算における社会保障施策関連経費への充当状況
- ・社会保障施策に要した経費 約119億7千万円
- ・地方消費税交付金増収分 約12億5千万円

歳出

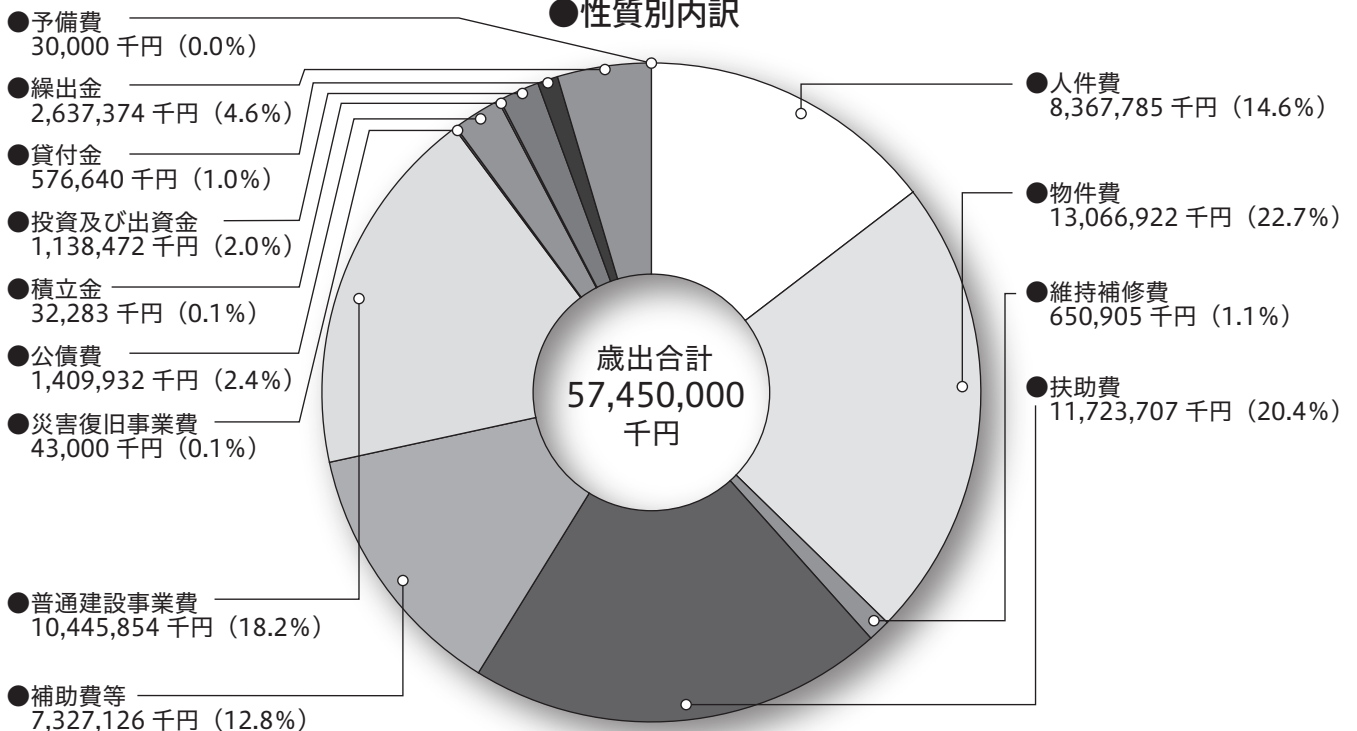
歳出の構成比で最も大きな割合を占めているのは、33.6%の民生費 193 億 1,228 万円です。その主なものは、児童手当支給事業や生活保護措置事業などです。次に、教育費 21.7%、124 億 4,118 万 3 千円です。そして土木費の 15.0%、86 億 650 万 2 千円と続きます。

なお、歳出に占める普通建設事業費などの投資的経費の割合は、18.3%です。

●目的別内訳



●性質別内訳



都市と自然が織りなす住みよいまちづくり

新 中心市街地まちづくり基本計画 策定事業

6,192 千円

刈谷駅及び刈谷市駅周辺のまちなかに更なる魅力と賑わいの創出を図るため、中長期的な視点に立ったまちづくりの基本的な目標や整備方針を示す中心市街地まちづくり基本計画を策定します。

新 刈谷駅北地区整備事業

82,400 千円

多彩な駅前機能の充実を図り、活気と賑わいの創出、まちなか居住の推進、定住人口の増加を図るため、市有地を活用し、商業施設や住宅、観光案内所などが複合した施設を整備する民間開発を支援します。

- 地区面積 約 0.3ha
- 延床面積 約 15,100㎡ (20 階建て)
- 主な用途 商業施設、業務施設、公共施設、住宅、駐車場
- 事業箇所 桜町



外観 (イメージ)



位置図

銀座 A B 地区整備事業

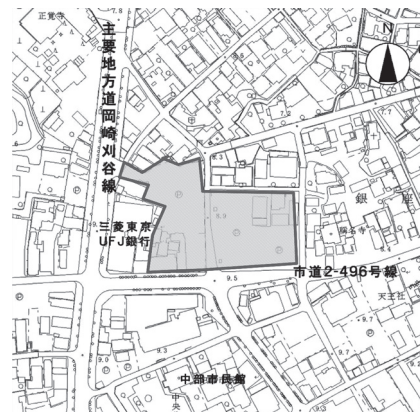
134,395 千円

中心市街地としてふさわしい土地の高度有効利用を図るため、民間活力を活用した都市基盤の再生及び魅力ある土地利用を推進します。

- 地区面積 約 0.67ha
- 延床面積 約 16,700㎡ (28 階建て)
- 主な用途 商業施設、社会福祉施設、住宅、駐車場
- 事業箇所 銀座ほか



外観 (イメージ)



位置図

拡大市街地調査推進事業

10,000 千円

住工混在地区の工場移転や新規産業立地、増加する人口の定住化を促進するため、工業系・住居系新市街地創出に向けた地区計画原案の作成や関係機関との調整などを行います。

- 依佐美地区事業化推進
- 小垣江町北部地区事業化推進

土地利用計画検討事業

3,667 千円

都市計画マスタープランの目指すべき都市構造の実現に向けた取組を推進するため、居住機能や都市機能の誘導施策を示す立地適正化計画を策定します。

都市交通計画調査推進事業

75,308 千円

“ひと”と“環境”にやさしく持続可能な都市交通体系構築のため、交通の円滑化を目指した道路計画、公共交通計画及び移動手段の適正化を推進します。

- スマートインターチェンジ整備検討
- J R 刈谷駅ホーム拡幅計画詳細設計
- 刈谷駅南北連絡通路基本設計

人と環境の共生する持続可能な低炭素社会や循環型社会の形成に配慮し、快適な都市空間の整備を進めることにより、生活の質を維持・向上させることを目指し、都市と自然が共存した魅力ある住みよいまちづくりを進めます。

都市計画道路7・4・555刈谷駅前線 道路新設改良事業

82,813 千円

刈谷駅北口周辺における自動車交通の円滑化及び安全性の向上を図るとともに、安心して安全な歩行空間の確保と、まちづくりと一体となった新たな賑わい空間を創出するため、刈谷駅北口のシンボルロードづくりを進めます。

- 電線類地中化工事
 - (1) 延長 175m
 - (2) 幅員 18m
- 事業箇所 相生町ほか

市道01-40号線他道路新設改良事業

463,170 千円

慢性的な交通渋滞を緩和し、市街地に流入する通過交通を抑制するため、バイパス機能を持った幹線道路を整備します。

- JR調査協定
- 道路新設改良工事
 - (1) 延長 210m
 - (2) 幅員 12m
- 用地購入 3,000㎡
- 事業箇所 逢妻町ほか

フローラルガーデンよさみ整備事業

34,000 千円

イベント時や週末の駐車場不足を解消し、利用者の利便性の向上を図るため、臨時駐車場を整備します。また、より魅力ある空間の創出を図るため、既存施設の再整備などに関する基本計画の策定及び基本設計を行います。

- 臨時駐車場整備工事 約 5,400㎡
- 基本計画及び基本設計

市営住宅長寿命化整備事業

106,000 千円

老朽化した市営下重原住宅を一部建て替え、戸数を拡大するとともに、耐震補強などの改修を行います。

- 4階建て住宅南側の増築工事及び耐震補強等改修工事
総事業費 587,369 千円
(29年度 106,000 千円)
(30年度 481,369 千円)

市道01-4号線他道路新設改良事業

201,617 千円

歩行者の安全と円滑な交通を確保するため、既存道路の拡幅整備や、県道岡崎豊明線から主要地方道名古屋岡崎線までの道路整備を行います。

- 道路詳細設計
- 道路新設改良工事
 - (1) 延長 103m
 - (2) 幅員 13.5m
- 用地購入 3,259㎡
- 事業箇所 西境町

公共施設連絡バス停留所整備事業

13,552 千円

公共施設連絡バス利用者の利便性の向上を図るため、バスの運行情報をリアルタイムに発信する運行情報画面（モニター）を設置します。

- 設置箇所
 - (1) ひまわりバス停
 - (2) 刈谷ハイウェイオアシスバス停
 - (3) 市役所バス停



運行情報画面（刈谷駅南口）

新 地域猫活動助成事業

819 千円

地域に住みついている飼い主のいない猫の増加を抑制するとともに、猫によるトラブルを減少させ、生活環境の保全を図るため、不妊去勢手術や餌やりなどの管理を適正に行う団体に対し、不妊去勢手術費用の一部を補助します。また、猫を捕獲するための捕獲器を貸し出します。

- 補助限度額
 - (1) 不妊手術 1匹につき 10,000 円
 - (2) 去勢手術 1匹につき 5,000 円

生きる力を育み生きる喜びを実感できるまちづくり

小垣江東小学校大規模改造事業

196,980 千円

老朽化した校舎機能を回復させるため、南校舎の大規模な改修を行います。また、併設する特別支援学校に合わせた設備などを整備します。

■内外装、設備改修工事など

総事業費 576,900 千円
(27年度 171,600 千円)
(28年度 208,320 千円)
(29年度 196,980 千円)

第一学校給食センター建設事業

1,715,000 千円

安全な調理環境を維持・向上させるとともに、併設される特別支援学校へ通う子どもたちに合わせた給食を調理するため、老朽化した第一学校給食センターを小垣江東小学校敷地内へ移転新築します。

■第一学校給食センター移転新築工事

(1) 総事業費 2,760,131 千円
(28年度 1,045,131 千円)
(29年度 1,715,000 千円)
(2) 延床面積 4,745㎡
(3) 調理能力 10,000 食/日



第一学校給食センター（イメージ）

依佐美中学校大規模改造事業

83,619 千円

老朽化した校舎機能を回復させるため、中校舎の大規模な改修を行います。

■内装改修工事など

特別支援学校建設事業

552,343 千円

小垣江東小学校の校舎の一部を増改築し、肢体不自由に特化した特別支援学校を整備します。

■特別支援学校建設工事

(1) 総事業費 877,407 千円
(27年度 65,280 千円)
(28年度 259,784 千円)
(29年度 552,343 千円)
(2) 延床面積 2,353㎡



特別支援学校（イメージ）

刈谷東中学校改築事業

4,000 千円

老朽化した校舎機能を回復させるため、中校舎及び南校舎を取り壊し、新たに2階建ての校舎1棟を建設します。

■新校舎建設工事

(1) 総事業費 1,539,000 千円
(27年度 610,000 千円)
(28年度 925,000 千円)
(29年度 4,000 千円)
(2) 延床面積 4,089㎡



刈谷東中学校新校舎（イメージ）

確かな学力の定着と豊かな人間性の育成を目指し、家庭、地域との連携を深め、特色のある学校づくりを進めるとともに、学習する意欲と能力を養い、低年齢から生涯にわたって学習できる生涯学習都市づくりを進めます。

空調設備整備事業（中学校）

612,000 千円
（平成 28 年度補正予算）

全中学校の普通教室などに空調設備を設置することで暑さ対策を強化し、生徒の安全と教育環境の向上を図ります。

■空調設備設置工事



新 加藤与五郎没後 50 年記念事業

4,700 千円

名誉市民である加藤与五郎博士の没後 50 年に当たり、その功績を市民に広く紹介し、科学に親しむ機会を提供するため、科学に関する講演会の開催や南部生涯学習センター内にある加藤与五郎展示室のリニューアルを行います。

■加藤与五郎没後 50 年記念事業

事業費 300 千円

■南部生涯学習センター施設改修事業

事業費 4,400 千円

新 全国アマチュアオーケストラフェスティバル開催事業

1,300 千円

音楽活動の活性化を図り、「音楽のあるまち かりや」としてのまちづくりのため、第 45 回全国アマチュアオーケストラフェスティバル刈谷大会を開催します。

■開催日 7 月 28 日～ 30 日

■会場 総合文化センター

新 宝くじスポーツフェアドリーム・サッカー開催事業

1,900 千円

国際スポーツ大会などの開催気運を盛り上げるとともに、競技力の向上、競技を通じた青少年の健全育成を図るため、サッカー元日本代表選手を招いてサッカー教室や親善試合などを開催します。

■開催日（予定）平成 30 年 1 月 13 日～ 14 日

■場所 ウェーブスタジアム刈谷ほか

新 学校司書配置事業

3,230 千円

学校図書館の機能を充実させ、児童生徒の読書量及び質の向上を図るため、小中学校で読書活動の支援を行う学校司書を配置します。

企画展開催事業

50,018 千円

多くの市民に質の高い美術に触れる機会を提供し、文化の振興を図るため、著名な画家や芸術家の作品などを紹介する美術展を開催します。

■子供之友展

(1) 事業費 19,159 千円

(2) 会期 4 月 22 日～ 6 月 4 日

■斎藤吾朗展

(1) 事業費 10,148 千円

(2) 会期 7 月 22 日～ 9 月 3 日

■篠原有司男展

(1) 事業費 20,711 千円

(2) 会期 9 月 16 日～ 11 月 5 日

歴史博物館建設事業

2,162,026 千円

刈谷の歴史資料や文化財を適切に保存・管理するとともに、広く一般に公開するため、歴史博物館を建設します。

■歴史博物館建設工事

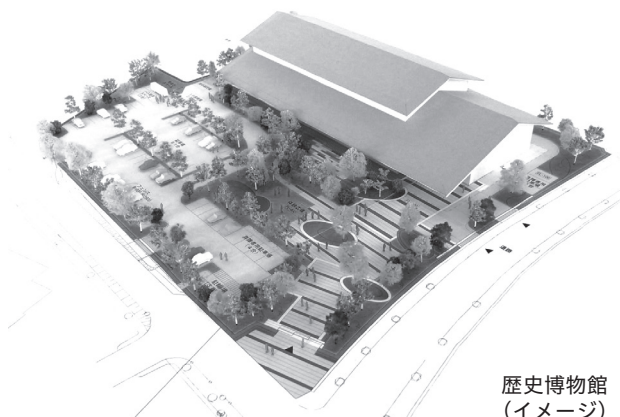
(1) 総事業費 3,446,100 千円

(28 年度 172,221 千円)

(29 年度 2,162,026 千円)

(30 年度 1,111,853 千円)

(2) 延床面積 4,103㎡



歴史博物館
（イメージ）

支えあいみんなが元気で安心して暮らせるまちづくり

拡 わが家の地震対策事業

103,554 千円

住宅の耐震診断や耐震改修などに対し費用の補助を行い、住宅の耐震化を促進します。また、木造住宅段階的耐震改修費に対する補助対象を拡大します。

■補助内容 ()内は補助限度額

- (1) 木造住宅無料耐震診断
- (2) 木造住宅耐震改修費補助 (120 万円)
- (3) 木造住宅段階的耐震改修費補助
 - ア 1 段階目 (60 万円)
 - (7) 建物全体の総合判定値 0.7 以上
 - (4) 1 階部分の総合判定値 1.0 以上【新規】
 - イ 2 段階目 (60 万円)
 - 建物全体の総合判定値 1.0 以上
- (4) 木造住宅簡易耐震改修費補助 (30 万円)
- (5) 木造住宅取壊し費補助 (20 万円)
- (6) 木造住宅耐震シェルター設置費補助 (30 万円)
- (7) 非木造住宅耐震診断費補助
 - ア 戸建 (8 万 6 千円)
 - イ 戸建以外 (120 万円)
- (8) 非木造住宅耐震改修費補助 (500 万円)
- (9) ブロック塀等撤去費補助 (10 万円)
- (10) 緊急輸送道路等沿道建築物耐震診断費補助 (180 万円)
- (11) 緊急輸送道路等沿道建築物耐震改修費等補助 (1,892 万円)
- (12) 避難道路沿道木造住宅耐震改修費補助 (140 万円)
- (13) 避難道路沿道非木造住宅耐震診断費補助
 - ア 戸建 (10 万円)
 - イ 戸建以外 (140 万円)
- (14) 避難道路沿道非木造住宅耐震改修費補助 (600 万円)
- (15) 耐震啓発活動報償金 (10 万円)

橋りょう補強事業

105,060 千円

地震発生後に市民が安全に避難所などに避難できる経路を確保するため、避難道路に架かる橋りょうの耐震補強工事を行います。

■橋りょう耐震補強実施設計

神明橋はじめ 6 橋

■橋りょう耐震補強工事

寺裏跨線橋はじめ 6 橋



寺裏跨線橋 (小垣江町)

拡 防犯対策推進事業

161,700 千円

犯罪発生を抑止し、まちの安全性を高め市民の不安の軽減を図るため、防犯上不安のある場所に防犯灯や街頭防犯カメラを設置します。

■防犯灯設置事業

事業費 7,411 千円

■防犯灯 LED 化事業

事業費 29,000 千円

■街頭防犯カメラ設置事業

事業費 125,289 千円



街頭防犯カメラ

拡 消費者行政活性化事業

2,537 千円

市民の安心安全な消費生活の実現を図るため、専門の消費生活相談員が消費生活に関する相談に応じる消費生活センターを開設します。

■開設場所

市役所 3 階 くらし安心課相談室

■開設日

月・火・木・金曜日 (祝日及び年末年始を除く)

■開設時間

午前 9 時～午後 4 時

新 県営防災ダム事業

1,650 千円

岩ヶ池の堤体の安定性を高めるとともに溢水被害の抑制を図るため、堤体及び洪水吐の改修を行います。

■実施設計

- (1) 堤体地盤改良
- (2) 洪水吐改修
- (3) 緊急放流ゲート設置

■事業箇所

東境町

行政と市民、事業者、大学などが協力・連携し、より良い保健・福祉サービスの維持・向上を図るとともに、災害や犯罪、交通事故などに対する安全性を高めることにより、みんなで支えあいながら、住みなれた地域で心豊かに安心して暮らせるまちづくりを進めます。

新 強度行動障害加算事業

6,059 千円

障害者施設で強度行動障害者が安定して生活できるように、強度行動障害者を受け入れた障害者施設に対し、1日1人当たりのサービスに必要な経費の一部を行動援護点数に応じて補助します。

■補助額

(1) 生活介護	(2) 短期入所又は施設入所支援
ア 16点以上 3,300円	ア 16点以上 5,000円
イ 13～15点 2,500円	イ 13～15点 3,750円
ウ 10～12点 1,650円	ウ 10～12点 2,500円

日高保育園大規模改造事業

343,931 千円

安全で良好な保育環境を維持するとともに施設の延命を図るため、老朽化した日高保育園の大規模改造工事を行います。

■内外装、設備改修工事など

拡 民間保育所運営支援事業

1,325,912 千円

待機児童の解消を図るため、民間保育所の運営経費や29年度に建設される民間保育所に対して建設経費を補助します。また、保育サービスの拡充を図るため、民間保育所が祝日に行う保育に対して補助を行います。

■建設予定箇所

- (1) (仮) 刈谷清涼保育園 (高須町)
- (2) (仮) 刈谷大和保育園 (池田町)

■祝日保育実施園 (予定)

こぐま保育園、第二こぐま保育園、刈谷ゆめの樹保育園、空のうさぎ保育園



拡 子ども・子育て支援システム改修事業

5,519 千円

国の「幼児教育の段階的無償化に向けた取組の推進」を踏まえた保育園及び幼稚園の保育料の負担軽減に対応するため、子ども・子育て支援システムを改修します。

■保育料の軽減内容

- (1) 第2子無償化
 - ア 保育園 市民税非課税世帯
 - イ 幼稚園 市民税非課税世帯及び市民税所得割非課税世帯
- (2) 年収約360万円未満相当世帯の負担軽減

住吉幼稚園移転新築事業

74,911 千円

良好な保育環境の維持を図るため、老朽化した住吉幼稚園の園舎を重原幼稚園と合併して第一学校給食センターの跡地に移転新築します。

■住吉幼稚園移転新築工事

- (1) 総事業費 884,810千円
(29年度 74,911千円)
(30年度 809,899千円)
- (2) 延床面積 約2,700㎡
- (3) 事業箇所 神田町

拡 放課後児童クラブ運営事業

182,438 千円

利用者の利便性の向上を図るため、放課後児童クラブの開設時間を拡大します。

- 対象クラブ 市内全15クラブ
- 対象児童 小学1～4年生
- 開設日 日曜、祝日及び年末年始を除く毎日
- 開設時間
 - (1) 平日 下校時～午後7時
 - (2) 学校休業日 午前7時30分～午後7時
- 利用料金 月5,000円



人と技術で賑わいを創り笑顔で働き続けられるまちづくり

ものづくりによって培ってきた高い技術と能力の蓄積を有効にいかしつつ、農業、商業、工業とバランスの取れた産業の振興を図り、誰もが笑顔で働き続けることのできる賑わいのある明るいまちづくりを進めます。

新 人材確保事業

4,500 千円

中小企業者の労働者不足を解消するため、市外で開催される合同企業説明会に市内の中小企業者が出展した場合、出展料の一部を補助します。

■対象者

- (1) 市内に本店登記を有する中小企業者
- (2) 市内に事業所を有する個人

■補助率 2分の1

■補助限度額 同一年度内 30 万円



見本市等出展支援事業

2,000 千円

市場開拓や販路拡大のため、製品・技術などを紹介する見本市に市内の中小企業者が出展した場合、出展料の一部を補助します。

■対象者

- (1) 市内に本店登記を有する中小企業者
- (2) 出展事業に係る事業所を市内に有する中小企業者

■補助率 2分の1

■補助限度額 同一年度内 20 万円



新 創業者支援事業

3,000 千円

市内における創業を促進するとともに、創業後の経営の安定化を図るため、市内で創業する個人に対し、創業時に必要な経費の一部を補助します。

■対象者

- (1) 市内に事業所を置くことを予定している者
- (2) 市内に本店を置く会社を設立することを予定している者

■対象経費 () 内は補助限度額

- (1) 事業所賃貸料 (60 万円)
- (2) 法人登記などに係る経費 (15 万円)
- (3) 販売の促進に係る経費 (25 万円)

■補助率 2分の1

拡 小規模企業者設備投資促進補助事業

20,000 千円

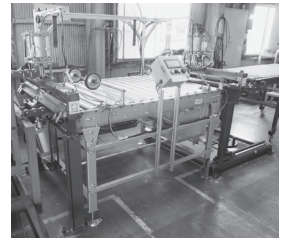
小規模企業者の設備投資の促進及び経営基盤の強化を図るため、小規模企業者が市内の事業所で設備の更新などを行う場合、経費の一部を補助します。

■対象者 従業員数 20 人以下 (商業・サービス業は 5 人以下) の小規模企業者

■補助率

- (1) 経営革新計画の実施に伴う設備投資【新規】
100 分の 10
- (2) (1) 以外の設備投資
100 分の 5

■補助限度額 500 万円



商業団体事業費補助事業

19,369 千円

商業団体が経営の合理化や販路の開拓を図り、商業の活性化のために行う各種事業にかかる経費の一部を補助します。

刈谷ハイブリッドアグリ奨励事業

6,000 千円

農業者の高齢化、後継者不足、地域特産物の衰退など、農業を取り巻く課題解決のため、農業者団体により選定された新規就農者が、企業OBなどを活用し、地域特産物を栽培するという取組に対して奨励金を交付します。

市民と行政の信頼と協働で築くまちづくり

市民と行政の双方向によるまちの環境を整備することにより、市民と行政の信頼関係を深め、豊かで魅力あるまちの実現に向けて協働できるまちづくりを進めます。

新 地域活動車両貸出事業

7,156 千円

地域活動の利便性を高め活性化を図るため、地域活動に必要な物品などの運搬用として、自治会等に車両(軽トラック)を貸し出します。

■車両配備

- (1)市役所2台
- (2)富士松支所1台
- (3)市民センター(東刈谷・小垣江・北部)各1台

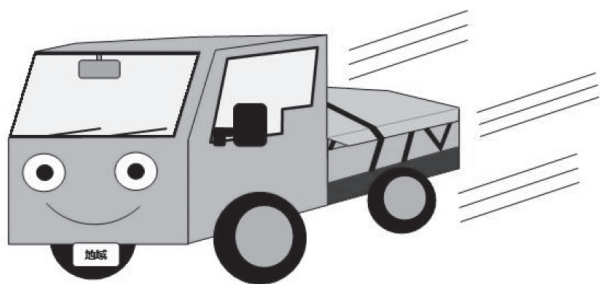
■鍵の受渡し時間

午前9時～午後9時

(ただし、各市民センターは月曜日のみ午前9時～午後5時)

※燃料費は利用者の負担

■貸出開始時期 6月(予定)



拡 刈谷の魅力発信事業

4,249 千円

利用者の利便性向上を図るとともに、刈谷市の魅力を効果的に情報発信するため、公共施設に無料公衆無線LAN(無料Wi-Fi)環境を整備します。

■設置場所

- (1)総合文化センター
- (2)市民ボランティア活動センター

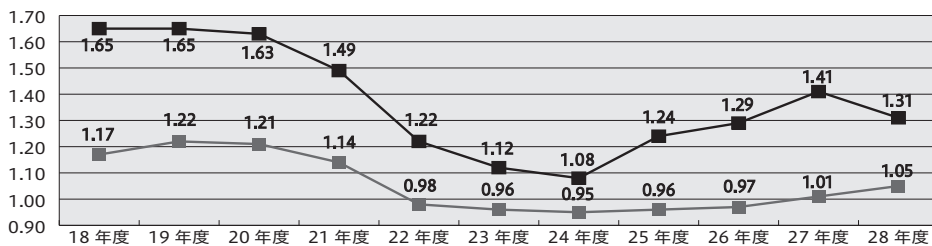


主な財政指標の推移

(1) 財政力指数

地方公共団体の財政上の能力を示す指数で、1を超えるほど財政に余裕があります。

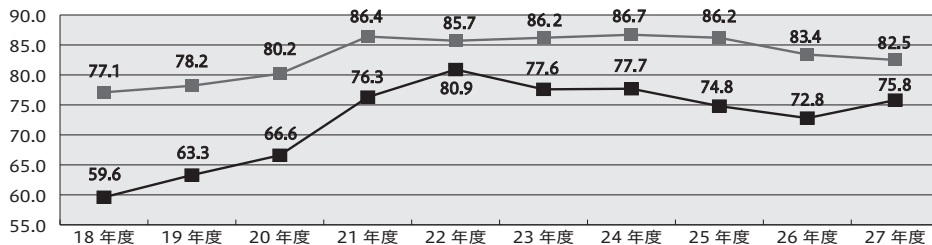
財政力指数(単年度)



(2) 経常収支比率

地方公共団体の財政構造の弾性を測る指標で、人件費、扶助費、公債費などの経常的経費に市税などの一般財源がどの程度充てられているかをみるもので、この比率が増加すると財政運営は硬直化します。

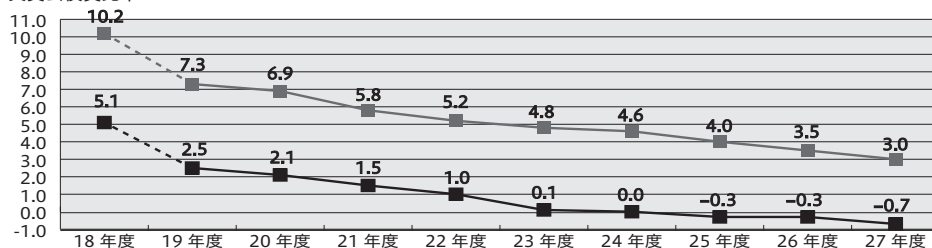
経常収支比率



(3) 実質公債費比率

一般会計や特別会計、企業会計の公債費に広域連合や一部事務組合における公債費を加えた実質的な公債費が、財政に及ぼす負担割合を直近の決算年度を含めた3年平均で表した指標で、この比率が低いほど財政が健全であるといえます。

実質公債費比率

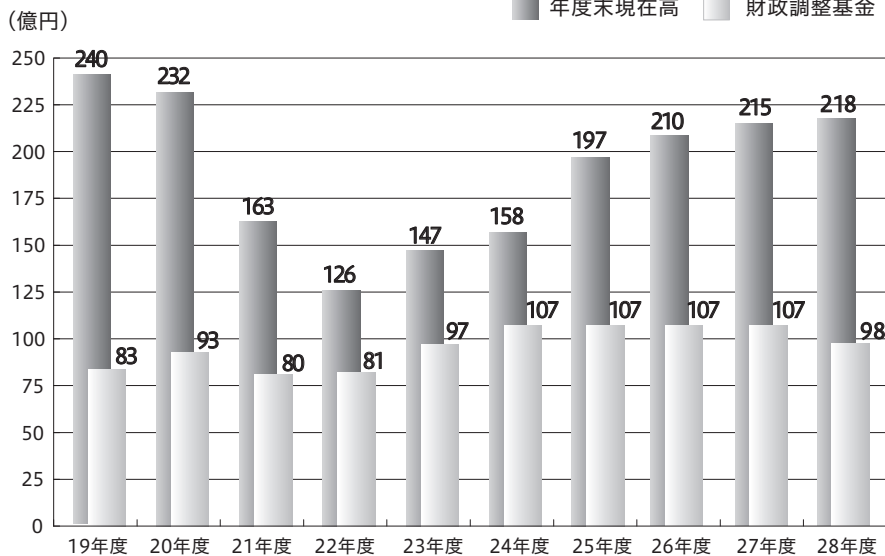


※平成19年度以降は、財政健全化法に基づく算定による数値です。

基金の状況

基金の現在高は、平成28年度末現在で、約218億円です。その内訳は、財政調整基金（約9億5,600万円）、公共施設維持保全基金（約43億5,500万円）、亀城公園等整備基金（約32億3,000万円）が主なものです。

基金現在高の推移



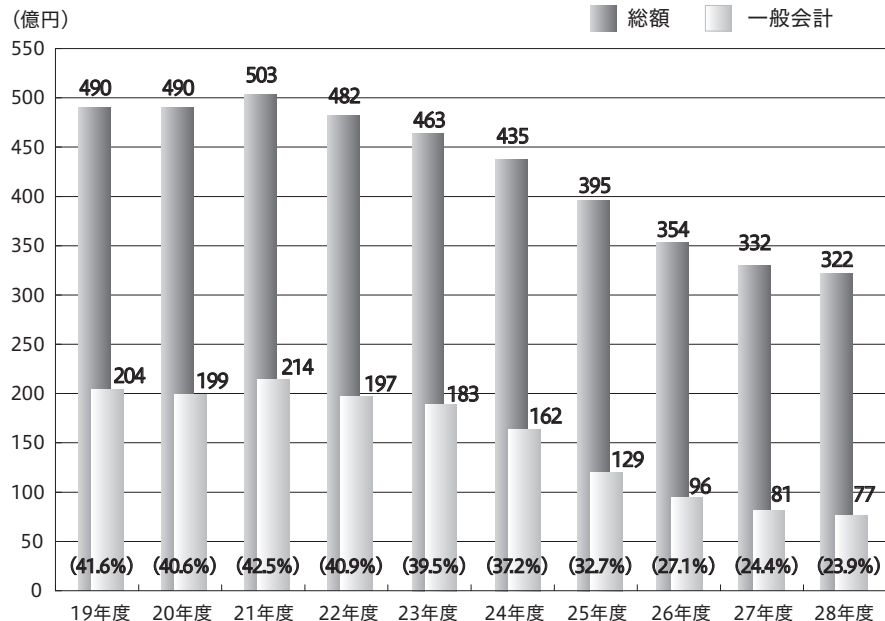
(単位：百万円)

基金名	現在高
財政調整基金	9,756
土地開発基金	448
国際交流振興基金	226
美術品等購入基金	593
地域福祉基金	275
国民健康保険基金	269
介護保険基金	286
緑化推進基金	320
市民活動支援基金	15
亀城公園等整備基金	3,230
公共施設維持保全基金	4,355
一般旅券収入印紙購入基金	10
都市交通施設整備基金	2,000
合計	21,783

市債の状況

市債の現在高は、平成28年度末現在（見込み）で、約322億3,200万円です。そのうち、一般会計は、約77億500万円で23.9%を占めています。特別会計では、下水道整備の進展により下水道事業会計が大きな割合を占めています。

市債現在高の推移

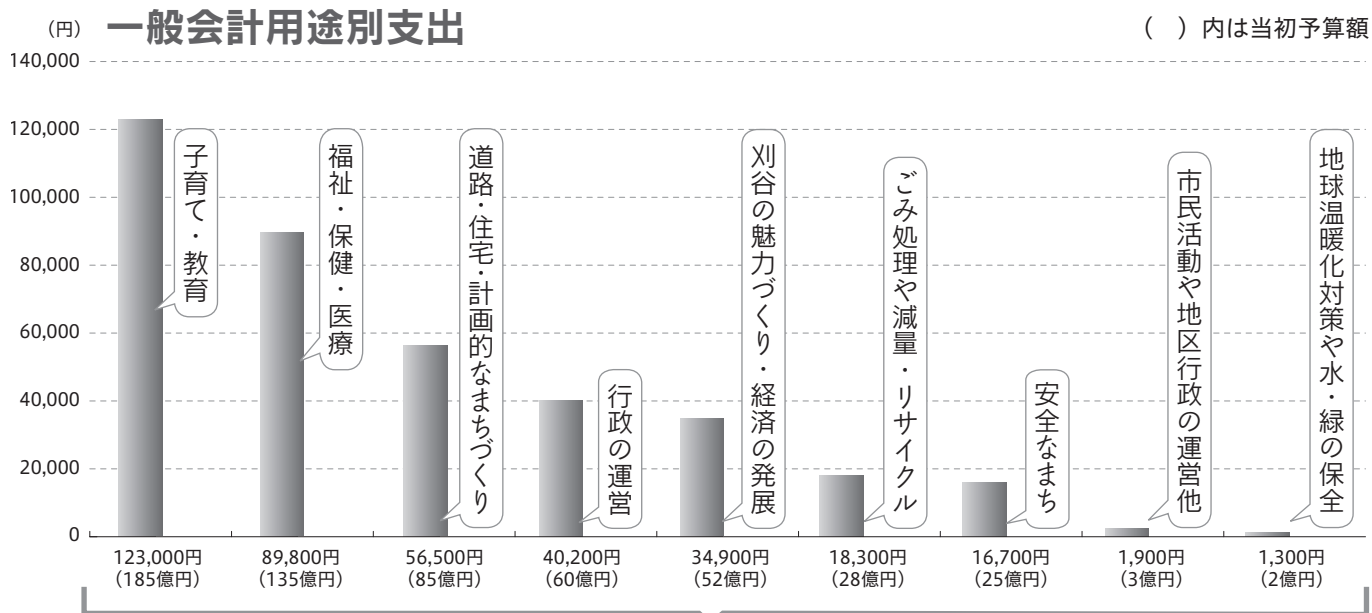


(単位：百万円)

会計名	現在高
一般会計	7,705
特別会計	22,592
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業会計	246
下水道事業会計	22,346
企業会計	1,935
水道事業会計	1,935
合計	32,232

市民 1 人当たりの予算額（用途別）

刈谷市の平成 29 年度予算総額 574 億 5,000 万円を、市民 1 人当たり（平成 29 年 4 月 1 日現在の人口 150,135 人）に換算すると 382,600 円となります。これは、市民生活の向上や地域経済の活性化などいろいろな目的の用途に使用されています。用途の中で最も多いものが、子育て・教育分野で 123,000 円、次に福祉・保健・医療分野に 89,800 円、そして、道路・住宅・計画的なまちづくり分野に 56,500 円の順となっています。なお、金額は端数を調整しています。



市民 1 人当たりに使われる予算額 **382,600** 円 一般会計予算額 **574 億 5,000** 万円

刈谷市の家計簿

刈谷市の平成 29 年度一般会計当初予算を、年収 500 万円（月収 41 万 6,000 円）のご家庭に例えて、1 カ月の家計簿を作成しました。

刈谷市の 1 カ月の家計簿

収入		支出	
給与	273,000 円	食費（人件費）	61,000 円
基本給（市税）	242,000 円	医療費、保育料など（扶助費）	94,000 円
諸手当（地方譲与税、県税交付金など）	31,000 円	家のローン返済（公債費）	10,000 円
家の修繕代の助成金、奨学金など（国県支出金）	62,000 円	家財道具の買替え、家の修繕費など（施設等整備費、維持補修費）	100,000 円
パート収入、家財の売却による収入など（使用料、手数料、財産収入、繰入金、諸収入）	62,000 円	光熱水費、日用品、教育費など（行政運営費）	124,000 円
家の修繕や車の買替えのための銀行からの借金（市債）	19,000 円	1 人暮らしの家族への仕送り（繰出金）	27,000 円
合計	416,000 円	合計	416,000 円

家族の医療費（高齢者・児童福祉などの扶助費）、ローンの返済（公債費）、食費（人件費）の 3 つは、「義務的経費」と呼ばれています。この「義務的経費」が多いことは、一般家庭のエンゲル係数（家計における食費の占める割合）が高いことと同じで、家計にあまり余裕がないことを意味します。刈谷市の歳出総額に占める義務的経費の割合は約 4 割であり、県内市町村の平均割合約 5 割と比較すると低く、健全な財政であることを示しています。

OUTLINE OF BUDGET 2017



- この印刷物は、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）に基づく基本方針の判断の基準を満たす紙を使用しています。
- この印刷物はAランクの資材のみを使用しており、印刷用の紙にリサイクルできます。